吉野先生記念会例会議事録　翻刻作業用ワークシート

* 次の［凡例（仮）］に従い各担当ブロックの文字起こしをしましょう。

［凡例（仮）］

１　原資料にある取り消し線や訂正は可能なかぎりそのまま再現する。

２　原資料で明らかな誤字の場合は、該当部分に　ママ　と振る。

３　挿入記号等によって文が追加されている場合は、その文を　〈〉　で括る。

４　判読不明な文字は　□　で表す。

５　仮名遣いは原文を尊重し、旧漢字は常用漢字に置き換える。

* この凡例で対応できない箇所があったら、「凡例修正提案書」で修正の仕方について提案してください。皆さんからの提案を第２回の活動日に参加者で検討します。

【１-１】

吉野記念会第一回例会（昭和二十五年十一月二十七日午後六時三十分開会）

（河村）　この夏の理事会の際、私は第一回例会の当番幹事に指名されました。それは、私が吉野博士の最初の助手であったからでありましょう。しかし、この幹事、甚だ怠慢でございまして、最初九月頃にやるつもりでありましたのが、のびのびとなり、そのうちにはだんだんと寒くなりましたので、急にあわてだし、会場はどこか適当な

【１-２】

ところがどうにかなると思ったのがどうにもならず、已むを得ずこのような裁判所などという殺風景なところで第一回例会をやることになってしまいました。ところが、天気も悪く、お寒いうちを、こんなに大勢御出席を戴きまして感謝に堪えません。さて、

　さて、例会のやり方につきましては、理事会のときも、いろ〳〵話が出たのでありますが、会にまとまりをつけるために、まず、二、三の方にお話をして戴いて、それを中心として、やつて行けばよいのではないか。話の方法はいろ〳〵あると思います。例えば、明治文化についてのことを主にするとか、或は大学研究室関係或は新聞雑誌社関係とやった方がよいか。

凡例１

　しかし、取り敢えず、第一回は総会、発起人会でお話の伺えない方々に主にお話し戴きたいと存じます。まず、馬場、大内、新居の三先生にお話をお願いいたしましたところ、いずれも御快諾戴き、誠に有難うござ

【１-３】

います。また意外に多くの方々がお集り下さいまして当番幹事として感謝に堪えません。

凡例２

これは一つには吉野先生の御徳のしからしめるところ、又、先生に対する皆様の友情、情の深さ、厚さを考えまして感激いたして居ります。外に、御出席戴きたく御通知申上げました方の中で、吉野先生の親友であられ、また、その葬儀委員長を勤められた牧野博士からも御出席の御通知を戴きましたが、お年のこともでもあり、殊に茅ケ崎にお住いのことですので、或はお見えにならないかも知れません。牧野先生は、皆様御承知のようにさきごろ、土晩翠先生等と御一緒に文化勲章を授与せられたのでありますが、もし吉野先生が御在世ならば、「牧野君よかったね。」と云われるに違いありません。いや、吉野先生こそ文化勲章を受けらるべき方であります。もしそうであるならば、この会は牧野、土、吉野の三先生の文化勲章受賞

凡例１

【１-４】

祝賀会となる筈ではなかつたかと存じます。

　また、松岡先生にはインドからお帰りになったばかりのところ、かつまた国会開会中ですのでお出でになれぬのではないかと存じて居りましたところ、御出席戴きましたことは感謝に堪えません。それに、広島の森戸先生から御出席の御通知を戴いて居りますので、そのうちお見えになるかもしれません。

　ともかくも、〈幹事不行届にもかかわらず、〉御遠方の方、御多忙の方までお見え下され感謝に堪えません。御食事を召上りながら、御意見やら、お話しやらを伺ったり、また御懇談戴きたいと存じます。会の進行のため司会者を石川さんにお願い致します。

凡例３

（石川）　お詫びせねばならぬのは、河村さんではなくて私であります。実際の幹事でありながら、今日まで第一回を開けなかったのは申訳ありません。只今、河村さんから非常に謙遜な御挨拶がござ

【１-５】

いましたが、こんなに行〈き〉届くとは思って居りませんでした。実はこの場所も、何処か会場費のいらぬ、よいところはないかと言う訳□から定めた次第で、裁判所の方に大変骨を折って戴きました。

凡例３

　例会の運営方法としては、数人の方に吉野先生との関係を□って戴いて、その要点を書きとめて置くつもりで、今日がその第一回であります。

凡例１・４

　次に寄附金の件につきまして、勧誘状に一口金五百円ト書いてありますが、それは最低でありまして、一口以上何口でも結構なのであります。既に十一万何千円が集って居りますが、これには何も御催促申上げなかったのに、送って戴いたものがかなりあったのでありまして、これは誠に嬉しいことであります。

　それでは、司会者ということもありませんが、進行係を勤めさせて戴くことに致します。馬場先生は早くお帰りになるということでありますから、まず馬場

凡例５

【１-６】

先生にお願い致します。

（馬場）　●［ブロックＡ-１（原資料で１５行分）］

【１-７】

●［ブロックＡ-２―原資料で１６行分］

【１-８】

●［ブロックＡ-３―原資料で１４行分］

（石川）　順序は別にありませんが、次はお隣の新居先生にお願い致します。

【１-９】

（新居）　●［ブロックＢ-１―原資料で１６行分］

【１-１０】

●［ブロックＢ-２―原資料で１６行分］

【１-１１】

●［ブロックＢ-３―原資料で１６行分］

【１-１２】

●［ブロックＢ-４―原資料で１４行分］

（石川）　次は大内先生にお願い致します。

（大内）　●［ブロックＣ-１―原資料で１行分］

【１-１３】

●［ブロックＣ-２―原資料で１６行分］

【１-１４】

●［ブロックＣ-３―原資料で１６行分］

【１-１５】

●［ブロックＣ-４―原資料で１６行分］

【１-１６】

●［ブロックＣ-５―原資料で１６行分］

【１-１７】

●［ブロックＣ-６―原資料で２行分］

（石川）　特にお話をお願い致しましたのは今のお三人でありますが、次は松岡先生どうぞ。

（松岡）　●［ブロックＤ-１―原資料で１２行分］

【１-１８】

●［ブロックＤ-２―原資料で１６行分］

【１-１９】

●［ブロックＤ-３―原資料で２行分］

（石川）　林さん、吉野先生の個人的印象、を何か、青年会関係でありませんか。

（林）

（石川）　吉野先生の青年会理事長の頃のこと、原田謙さん、どうですか。

（原田）　●［ブロックＤ-４―原資料で９行分］

【１-２０】

●［ブロックＤ-５―原資料で１５行分］

（石川）　それでは、次の回の当番幹事をここで

【１-２１】

定めたいと思います。この前のとき、例会は二月に一ということでありましたので、次回は来年の一月の終頃ということにして置きたいと存じます。

（）　幹事は理事会で定めるべきだと思います。

（石川）　それでは、次回の当番幹事は理事会で定めることに致しまして、会の運営、事業等につき御意見があるならば伺いたい。

（河村）　●［ブロックＥ-１―原資料で４行分］

（板橋）　●［ブロックＥ-２―原資料で３行分］

（板橋）　●［ブロックＥ-３―原資料で２行分］

【１-２２】

（石川）　今日集まられた方々には各方面の代表的な方々であられるのでそれだけでも意味があると思います。なお、吉野先生が個人的に残された親切なども御発表戴きたい。そして、吉野先生を再紹介するために、そうした□逸話を何らかの形で発表したいと存じて居ります。

（　　）　　●［ブロックＥ-４―原資料で１行分］

（石川）　●［ブロックＥ-５―原資料で２行分］

（　　）　●［ブロックＥ-６―原資料で３行分］

（豊島）　●［ブロックＥ-７―原資料で１行分］

（　　）　●［ブロックＥ-８―原資料で２行分］

（新居）　●［ブロックＥ-９―原資料で１行分］

【１-２３】

●［ブロックＥ-１０―原資料で４行分］

（東福）　●［ブロックＥ-１１―原資料で１２行分］

【１-２４】

●［ブロックＥ-１２―原資料で８行分］

（宮崎）　●［ブロックＦ-１―原資料で７行分］

（新居）　●［ブロックＦ-２―原資料で１行分］

【１-２５】

●［ブロックＦ-３―原資料で２行分］

（河村）　●［ブロックＦ-４―原資料で２行分］

（）　●［ブロックＦ-５―原資料で３行分］

（大内）　●［ブロックＦ-６―原資料で３行分］

（石川）　●［ブロックＦ-７―原資料で２行分］

（河村）　●［ブロックＦ-８―原資料で２行分］

（石川）　●［ブロックＦ-９―原資料で２行分］

【１-２６】

（河村）　●［ブロックＦ-１０―原資料で５行分］

（松岡）　●［ブロックＦ-１１―原資料で２行分］

（河村）　●［ブロックＦ-１２―原資料で９行分］

【１-２７】

●［ブロックＦ-１３―原資料で１６行分］

【１-２８】

広島大学は教育〈者養成〉を主とする大学だから喜んでいく。」と。は、丁度、京都で社会党が知事市長選挙で勝った時のことでした。〈曽ては教授不適格として大学を追われた森戸先生が今は教育者を主とする大学の学長となられ、〉ともあれ、当時の革命軍の雑兵〈を以て自ら任じていた〉であった私が、今〈は人を裁く身の上になっていることを思って〉、最高裁判所にいるということは感慨無量です。〈なるものを覚える次第であります。〉

（石川）　時間が参りましたので、此の辺で。次回は一月末ということになりました。いろ〳〵有難うございました。

―午後八時閉会

【１-２９】

第一回例会記事

昭和二五年一一月二七日午後五時最高裁判所において第一回例会が開催された。

　〈かねて〉創立総会において、〈選任せられた〉幹事会の協議により、第一回例会当番幹事として河村又介〈氏〉が指名され、例会開催の時期を待っていたのであるが、暑さもすぎて会同にふさわしい秋涼の候となったので一一月二七日これを開くことに決定、会場は他に適当

【１-３０】

な所がないままに最高裁判所におちついた。一一月二七日河村又介〈氏〉の筆になる左の案内状を会員全部に郵送した。

「拝啓。吉野博士記念会の第一回例会を左記の通り開催したいと存じます。例会では会員各位のお話をかわるかわるお願いしたいと存じますが、この度はまず馬場恒吾氏、大内兵衛氏、新居格氏のお三方のお話を伺い、それを中心として各位の御懇談をお願いいたしたいと存じまして、すでに右三氏の御快諾を得ました。何卒おくり合せ御出席下されたく御案内申上げます。（左記略）会費は夕食代として二百円であった。

　本例会の主旨は右の案内状によって明らかであるが、特に話の内容を速記し、吉野博士に関する資料とするという目的を持っていた。

　出席者の名は末尾記載の通りである。

　会派左の如き順序に進行し、〈極めて熱心にで〉終始和気あいあい、成功で

【１-３１】

あった。発言の詳細は別紙速記録の通りである。

一、河村又介〈氏〉の今度の例会開催のいきさつに関する挨拶。

二、全会一致で石川清氏を司会者に推す。

三、石川清氏の同じく例会開催のいきさつに関する挨拶。寄附金の募集状況に関する報告。食事をしつつ〈同氏の司会で〉話に入る。

四、馬場恒吾氏の話。これは主として吉野博士の民主主義の純粋性を強調し〈され〉た。ものであった。

五、新居格氏の話。吉野博士の〈学風、〉人となり、人間的な偉さ、懐しさについて〈体験に基づき〉詳細に述べられた。

六、大内兵衛氏の話。吉野博士をその時代の社会思想の背景において捉え、透徹した観方を下された。

七、松以上で予定された三人の話を終り、司会者の指名で次の各氏が話をされた。

　⑴松岡駒吉氏。インドで吉野博士の民主主義を紹介された話。

【１-３２】

　⑵原田氏。船中で船員に吉野博士を説〈かれた〉□話。国際連合に関連して、吉野博士の達見。

八、吉野博士記念事業として左の件が発案された。

　⑴デモクラシー会館の設立。（幹事会）

　⑵多摩墓地に記念像を立てる。（板橋菊松氏）

　⑶伝記の作成。ことに〈手紙、〉逸話の保存。

　⑷著作選集の発行。（　　　　）

　⑸文化切手の発行。（　　　　）

　⑹会員が実費で年一回位地方行って講演する。（　　　　）

　⑺人間吉野という小説を新居格氏に書いて貰う。（　　　　）

　⑻東大の行動に掛けるよう、写真を寄附する。（大内兵衛氏）

九、各種の発言。東福義雄氏、新島榮治氏等。

一〇、河村又介氏の話。森戸辰男氏入獄の際の吉野博士をえがかれた。

一一、石川清氏の閉会の辞。爾後二箇月に一回例会を開く旨会員□同意があつた。

【１-３３】

　以上をもって午後八時閉会した。最後に速記の労をとられた関口文吉氏、会場を貸与整理して下さった裁判所の事務当局に対しおを申上げる〈厚く謝意を表する〉。（川添萬夫記）

　出席者（順序不同）

【２-１】

吉野記念会第二回例会

昭和二十六年一月二九日午後四時半

於港区三田四国町日本電気株式会社十分開会）

（石川清）　本日は幹事不行届きでございまして、大変申訳ございません。今度は日本電気を貸して貰うように話して、便宜をはかって貰いました。丁度ここの総務部長の遠藤君が会員なんで、特別に色々なことをやってくれ、御馳走も安く買ってくれました。

【２-２】

この前の会で例会を二カ月に一回開くことに極めまして、第二回の例会を一月の末に開くということにしてありましたが、いよいよ今日ここで開くことになりました。今日のいき方としましては、河村さんの御提案がありますので、先ずそれからやってゆきたいと思います。今日は特に誰ということを極めないで、くつろいだ気持で皆さんに吉野先生のいろんな面を公開して頂きたいと思います。なおこの前の会で板橋さんにお願いしておいたこ〈と〉のご報告が板橋さんからあります。その他会の運用上のことで御希望なり御報告なりがあればどうぞお願い致します。

（河村又介）　●［ブロックＧ-１―原資料で５行分］

【２-３】

●［ブロックＧ-２―原資料で１４行分］

【２-４】

●［ブロックＧ-３―原資料で３行分］

（石川清）　●［ブロックＧ-４―原資料で３行分］

（河村又介）　●［ブロックＧ-５―原資料で１行分］

（石川清）　●［ブロックＧ-６―原資料で３行分］

（板橋菊松）　●［ブロックＧ-７―原資料で１行分］

（松岡駒吉）　●［ブロックＧ-８―原資料で３行分］

【２-５】

（石川清）　●［ブロックＧ-９―原資料で５行分］

（松岡駒吉）　●［分ブロックＧ-１０―原資料で２行分］

（河村又介）　●［ブロックＧ-１１―原資料で１行分］

（松岡駒吉）　●［ブロックＧ-１２―原資料で１行分］

（河村又介）　●［ブロックＧ-１３―原資料で１行分］

（東福義雄）　●［ブロックＧ-１４―原資料で４行分］

【２-６】

●［ブロックＧ-１５―原資料で７行分］

（河村又介）　●［ブロックＧ-１６―原資料で２行分］

（石川清）　●［ブロックＧ-１７―原資料で１行分］

（平井好一）　●［ブロックＧ-１８―原資料で２行分］

（一同）　●［ブロックＧ-１９―原資料で１行分］

（石川清）　●［ブロックＧ-２０―原資料で１行分］

【２-７】

●［ブロックＧ-２１―原資料で６行分］

（種々懇談）

（石川清）　●［ブロックＨ-１―原資料で４行分］

（新島榮治）　●［ブロックＨ-２―原資料で１行分］

（石川清）　●［ブロックＨ-３-２４―原資料で２行分］

【２-８】

●［ブロックＨ-４-２５―原資料で１行分］

（板橋菊松）　●［ブロックＨ-５―原資料で１３行分］

【２-９】

●［ブロックＨ-６―原資料で１４行分］

【２-１０】

●［ブロックＨ-７―原資料で２行分］

（松岡駒吉）　●［ブロックＨ-８―原資料で３行分］

（新島榮治）　●［ブロックＨ-９―原資料で１行分］

（松岡駒吉）　●［ブロックＨ-１０―原資料で１行分］

（一同）　●［ブロックＨ-１１―原資料で２行分］

（河村又介）　●［ブロックＨ-１２―原資料で２行分］

（石川清）　●［ブロックＨ-１３―原資料で２行分］

（荒井陸男）　●［ブロックＩ-２―原資料で１行分］

【２-１１】

●［ブロックＩ-３―原資料で１４行分］

【２-１２】

●［ブロックＩ-４―原資料で１４行分］

【２-１３】

●［ブロックＩ-５―原資料で１４行分］

【２-１４】

●［ブロックＩ-６―原資料で１４行分］

【２-１５】

●［ブロックＩ-７―原資料で６行分］

●［ブロックＪ-１―原資料で８行分］

【２-１６】

●［ブロックＪ-２―原資料で４行分］

●［ブロックＪ-３―原資料で１０行分］

【２-１７】

●［ブロックＪ-４―原資料で１４行分］

【２-１８】

●［ブロックＪ-５―原資料で１４行分］

【２-１９】

●［ブロックＪ-６―原資料で１４行分］

【２-２０】

●［ブロックＪ-７―原資料で５行分］

（一同）　●［ブロックＫ-１―原資料で１行分］

（荒井陸男）　●［ブロックＫ-２―原資料で７行分］

（平井好一）　●［ブロックＫ-３―原資料で１行分］

【２-２１】

●［ブロックＫ-４―原資料で１３行分］

（石川清）　●［ブロックＫ-５―原資料で１行分］

【２-２２】

●［ブロックＫ-６―原資料で１４行分］

【２-２３】

●［ブロックＫ-７―原資料で１４行分］

【２-２４】

●［ブロックＫ-８―原資料で１４行分］

【２-２５】

●［ブロックＫ-９―原資料で４行分］

●［ブロックＬ-１―原資料で１０行分］

【２-２６】

●［ブロックＬ-２―原資料で１４行分］

【２-２７】

●［ブロックＬ-３―原資料で６行分］

（新島榮治）　●［ブロックＬ-４―原資料で１行分］

（荒井陸男）　●［ブロックＬ-５―原資料で７行分］

【２-２８】

●［ブロックＬ-６―原資料で４行分］

（河村又介）　●［ブロックＬ-７―原資料で２行分］

（増田道義）　●［ブロックＭ-１―原資料で８行分］

【２-２９】

●［ブロックＭ-２―原資料で８行分］

（東福義雄）　●［ブロックＭ-３―原資料で６行分］

【２-３０】

（荒井陸男）　●［ブロックＭ-４―原資料で１１行分］

（石川清）　●［ブロックＭ-５―原資料で３行分］

【２-３１】

●［ブロックＭ-６―原資料で７行分］

（板橋菊松）　●［ブロックＭ-７―原資料で４行分］

（荒井陸男）　●［ブロックＭ-８―原資料で２行分］

（守谷猛雄）　●［ブロックＭ-９―原資料で１行分］

【２-３２】

●［ブロックＭ-１０―原資料で５行分］

（新島榮治）　●［ブロックＭ-１１―原資料で５行分］

（河村又介）　本日は幹事不行届にかかわりませず多数おいで下さいまして、有難うございました。三月一八日の墓参の件に就きましては手配を致しました上で、あらためて御通知申上げます。肖像の方は荒井先生がよろしいとのことで

【２-３３】

ございますので、大学の方とも連絡の上準備を進めるように致したいと存じます。では本日はこれで閉会に致します。

第二回例会記事

　　　昭和二六年一月二九日　於日本電気株式会社

　二箇月に一回例会を開催するようおにしようという前の例会の決議に従って、一月二九日午後四時三〇分第二回例会が開かれた。会場は石川氏のあっせんで三田の日本電気株式会社の一室を借用した。寒い中にもかかわらず多数の参会があり、興味深い話も多く、極めて盛会であった。会は大体

【２-３４】

次のような順序で進行し午後八時過ぎ散会した。

　⑴石川清氏の開会の挨拶。

　⑵河村又介氏挨拶。墓参及び肖像画に関する提案。三月一八日の吉野博士の命日には例会を兼ねて墓参を行うこと、東大の教室に掲げるため吉野博士の肖像を荒井画伯に画いていただき、その費用は従来の寄附金とは別に広く一般に集めること、以上二点について決議がなされた。

　⑶板橋菊松氏　吉野博士の文化切手発行に関する報告。

　⑷荒井陸男氏の話

　⑸平井好一氏の話

　⑹石川清氏の話

　⑺増田道義氏の話

　⑻守谷猛雄氏の話

　⑼新島榮治氏の話

【２-３５】

　⑽河村又介氏閉会の辞。

この外にも短い発言はあったが省略する。

出席者（順序不同）